



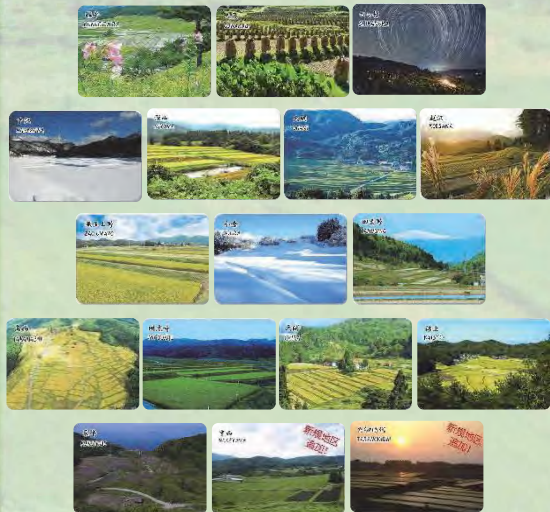
めくるめく

棚田の世界

いま、棚田の価値が見直され、棚田を応援しようという人たちの輪が広まりつつある。棚田は食料生産の場だけでなく、美しい景観や貴重な生物の宝庫、水と土砂の調節機能、文化や教育の場といった価値があり、次代の子ども達に残していきたい財産である。

山形県では、棚田の魅力を再認識するとともに、付加価値のある資源として磨き上げ、次世代へと継承していく取組みとして、「やまがたの棚田 20 選」の選定や棚田地域保全活動の支援、「棚田カード」の配布、棚田スタンプラリーなどを行っている。





棚田カードが 新しくなります

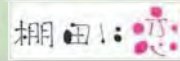
平成 29 年度に第 1 弾の配布を開始した棚田カード。令和 3 年 4 月からの第 3 弾では、「やまがたの棚田 20 選」の 2 地区を新たに追加し、カードデザインが全国棚田カード仕様になります(全国棚田カードへ移行)。カード表面の写真も一部の地区で変更となっています。季節の異なる、棚田の新たな一面は必見！

棚田カードの
詳しい情報は
こちら →



(県 HP)

全国棚田カード



(農水省 HP)

WHAT'S 棚田？

棚田とは、山の斜面や谷間の傾斜地に階段状に作られた水田のことをいう。山形県のような雪国では特に融雪による地下水が多く、棚田は代表的な地すべり地帯である一方、豊かな水源と肥沃な土が得られ、昔から人々はこの特色ある土地と上手につきあってきた。しかしながら平地よりも小さな水田の集まりである棚田は、非効率で多くの労働力がかかるため、高齢化や少子化の波もあり荒廃の危機に立たされている。一度耕作し水を溜めた水田は、やめしてしまうと地盤に割れが生じて地すべりを引き起こしやすくなり、農業の枠を超えた地域の課題となっている。



テーマ「2021 棚田再生」
令和 3 年 9 月 9 日～10 日
大蔵村 開催！

第 26 回全国棚田(千枚田)サミット

新型コロナウイルスの影響により延期されていた大蔵村主催の全国棚田サミットが、令和 3 年 9 月 9 日(木)～10 日(金)に開催されることとなった。開催テーマは「2021 棚田再生 -中山間地農業の新たな出発…灯そう地域の明かり-」。様々な課題に正面から向き合い、そこに暮らす人々が耕し育て、「生活の糧」として生きてきた歴史を、絶やすことなく守り続ける意義や魅力を、たくさんの仲間とともに全国に発信する。

やまがたの棚田 Q

やまがたの棚田へのアクセス、棚田カードの配布場所を今すぐチェック

山形県農林水産部農村計画課 中山間・棚田振興担当 TEL023-630-2495 FAX023-630-2509